9月13日～9月23日

いつまでも いきいきと 自分らしく

小西市長が「敬老の日」を前に、本年度中に白寿（99歳）を迎える市民を訪問し、長寿をお祝いしました。今回訪問を受けた古川町の米谷文子（よねたにふみこ）さんは、長く繊維関係の仕事をしていたこともあり、おしゃれが大好き。「毎日続けている運動とローストビーフを食べること。3食のご飯も自分で炊いています」と、長寿の秘訣をにこやかに話しました。

また、本年度中に米寿（88歳）を迎える市内の高齢者の、日常のいきいきした表情を活写した「ふくよか写真展」がひまわり館で開催されました。写真店を営む垣内寿美夫さんが、「見る人にも元気になってもらえれば」との願いから対象者宅を訪問し撮影しているもので、今回で35回目。家族ににぎやかに囲まれたり、趣味に打ち込んだりしている元気な写真に来館者は思わず見入っていました。

8月22日～10月6日

チョークアートの世界へようこそ

かわらミュージアムでは、「チョークで世界を巡る旅」と題したチョークアート展が、Atelier CHIHIROの主催で開催されています。

今回の展覧会では、令和2年から東近江市で毎年開催されているAtelier CHIHIRO教室展で集められた約50点の作品が飾られています。これらは12人の生徒によって生み出されたもので、「世界各国」をテーマに鮮やかな色彩で楽しい雰囲気を醸（かも）し出していました。

代表の萩原千尋（はぎわらちひろ）さんは、「アーティストの個性や表現の違いを感じてもらえるとうれしい」と話していました。

9月2日

笑顔に囲まれた新しい遊具

安土幼稚園、老蘇こども園、馬淵こども園の3園に、ふるさと納税寄附金を活用して、新しく大型遊具が設置されました。

安土幼稚園の園児たちは、暑さを忘れるほど夢中になって、滑り台やクライミングなどで遊び大喜び。「新しい遊具はいろいろできて楽しい」、「みんなで遊べるからうれしい」と子どもたちのにぎやかな声で楽しい空間となっていました。同園の益田園長は「新しい遊具をきっかけに、これまで以上に元気いっぱい外遊びを楽しんでほしいです」と笑顔で子どもたちを見守っていました。

9月5日

新たなブランド「淡海ぶどう」の初収穫

津田干拓地果樹生産組合による初めてのブドウの収穫が始まり、その報告会が行われました。

この組合は、市内の新たな産地づくりとして、20代～30代の若者9人が市内外から入植し始めたもの。令和5年3月からブドウとナシの定植を始め、今回ブドウの初収穫を迎えました。

報告会では、収穫したブドウ2品種が持ち寄られ、その1種・シャインマスカットの試食が行われました。小西市長はその甘さに驚き「新しい農業のモデルとして、これからも頑張ってほしい」とエールを送りました。

ブドウは現在、組合ブランド「淡海ぶどう」として市内の直売所などで販売されており、ナシも「淡海なし」として来年の夏頃販売される予定です。

赤こんリポート　東知樹リポーター

風が運ぶ夏の思い出

8月16日に日牟禮（ひむれ）八幡宮で萬燈祭が行われました。境内には、盆踊りを楽しむたくさんの人の笑顔や、楽しそうな声であふれ、その周りには目を惹（ひ）くたくさんのちょうちんがつるされていました。少しだけ吹く風が揺らすちょうちんの姿は、とても美しく長時間見入ってしまいました。その風のおかげもあり、境内にいる間はとても涼しく、夏であることを忘れてしまうほど快適に過ごすことができました。

赤こんリポート　松村美沙枝リポーター

湖に生きる人々の環境整備

「びわ湖環境保全活動組織」は、春から秋の時期にかけて月2回ほど琵琶湖の清掃活動を行っています。近年問題となっている繁殖しすぎた外来の水草や藻は、放っておくと湖底に酸素を届きにくくし、主に在来生物に悪影響が出るそうです。いつの間にか種が漂流し、増殖して湖面や湖底を埋め尽くしている植物もあります。組織は年々高齢化が進んでおり、水を含んだ水草を取り出す作業は楽には進まないそうですが、生態系や環境を守るために、汗をかき頑張ってくださっているみなさんに感謝です。

赤こんリポート　山田恵美リポーター

西の湖のヨシと自然のオーケストラ

現存する琵琶湖の内湖として一番大きい西の湖。ここはラムサール条約登録湿地で、サイクリングや水郷めぐりができます。そんな西の湖の夕日を見に、出掛けてみました。沈みかけの夕日と月、ヨシと湖面のきらきらとした光のコントラストがとても美しく、空の色の移ろいが幻想的でした。歩きながら聞こえるのは、鳥の羽ばたきや虫の音。重なり合い、広がり響き、まるで自然のオーケストラでした。西の湖でのひとときに心までいっぱいになりました。

赤こんリポート　馬場利男リポーター

懐かしくも新しい夏祭り AZUCHI summer FESTIVAL

今年で7回目の開催となるあづちサマーフェスティバルが、8月11日に安土小学校で開催されました。

今年のテーマは「Let's 盆 DANCE!!」。校庭内にはディスクゴルフや射的などの子ども縁日にキッチンカーや屋台が並び、多くの親子でにぎわっていました。ステージでは、安土老蘇まち協バンドやあづち信長出陣太鼓、チア、フラダンスなどが音楽や踊りを披露し喝采を浴びていました。またミニサッカー場が設けられ、レイラック滋賀FCの選手と子どもたちが一緒に練習したり記念撮影をしたりして楽しい時間を過ごしていました。

辺りが暗くなり盆踊りが始まると、スターダスト河内による万博音頭が、独特の踊りで会場を盛り上げました。そのまま安土詩好会による江州音頭が始まり、参加者は一斉に踊りだし大盛り上がりでした。